社会関係資本とは、「社会的信頼に基づいて社会ネットワークに投資することで得られる価値、社会的組織の総体」（日本社会学会 社会学事典刊行委员会編『社会学事典』丸善、2010年、244頁）を指します。信頼と社会関係資本は、近年、経営学、特に経営組織論における研究と実践の場において重要な位置を占めるようになってきました。それらはさらに、組織における関係の分析において鍵概念となり、組織の有効性にとっても不可欠なものとなっています。

本書は、組織における信頼と社会関係資本に関する重要論文を収録しています。第1巻「人々の間の信頼：個人間及びチームレベルの信頼」、第2巻「制度における信頼：組織間レベルの信頼」、第3巻「社会関係資本：概念的諸問題と分析のレベル」、第4巻「社会関係資本：組織的優位性と組織間のネットワーク」の全4巻、58の論文から構成されています。

本書を経営学、経営組織論、社会関係資本等をテーマとされる研究室・研究者にお薦め致します。

**Part 2: Interpersonal trust**

**Part 3: Team level trust**

**VOLUME II: TRUST IN INSTITUTIONS: ORGANIZATIONAL AND INTER-ORGANIZATIONAL LEVEL TRUST**

**Part 1: Impersonal sources of trust**
Part 2: Organizational Trust

Part 3: Inter-organizational trust

VOLUME III: SOCIAL CAPITAL: CONCEPTUAL ISSUES AND LEVELS OF ANALYSIS
Part 1: Conceptualization and measurement

Part 2: Sources of social capital

Part 3: Development of social capital at different levels

VOLUME IV: SOCIAL CAPITAL: ORGANIZATIONAL ADVANTAGE AND INTERORGANIZATIONAL NETWORKS

Part 1: Organizational advantage

Part 2: Social capital and network formation

Part 3: The role of social capital in interorganizational relationships